



宇部市立上宇部小学校
学校だより8. 9月号
令和5年8月25日発行

「心に夢のタマゴを持とう」

これは、2002年にノーベル物理学賞を受賞された物理学者の小柴昌俊さんが書かれた本のタイトルです。この本の中には、次のようなことが書かれています。

- 自分のこれから的一生の間に、やりたいこと、やり遂げたいこと、なりたいこと、理解したいことなどについて、目標になるタマゴを三つか四つ、いつも大事に持っていよう。
- 皆さんの周りには、いろいろな情報があふれている。自分がこれからやりたい目標を三つか四つ持っていると、これを使えば自分のタマゴはひよこになり、やがて実現することができるようになるかもしれない。
- また、この情報によると、このタマゴはひよこにかえすことができそうにないから、夢のタマゴの方を変えた方がよいということになるかもしれない。

「心に夢のタマゴを持とう」 とても素敵な言葉です。子どもたちには、自分は何になりたいか、どんなことを成し遂げたいか、どういう勉強をしたいか、どのような生き方をしたいかなどしっかりと考えて、心に「夢のタマゴ」を持つようにしてほしいと思います。

そして、大人は子どもたちが心に「夢のタマゴ」を持てるよう、学校だよりの7月号にも記した『子どもを「認める」関わり（言葉かけ）』をすることが大切なのではないでしょうか。そうすることで、子どもたちは、自己肯定感を高め、自分に対する可能性を信じることができるのではないかと考えます。

学校では、8月25日金曜日からの2学期も、「夢のタマゴ」や目標をもって生活する子どもたちを支えることができるよう、引き続き取り組んでいきたいと思っています。ご家庭でも、お子さんの「夢のタマゴ」について話し合ってみてください。

（校長 原 浩一郎）